

該当頁	意見市町村等	内容	対応状況
P67-68	横丹町	「多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト」において、「防災」という言葉が出てきていない。防災対策や国土強靱化の視点がどこかに欲しい。	道央広域連携地域としては、防災・減災対策、国土強靱化に資するインフラの整備について、30頁に記載しているが、これに加え、後志地域として、地域特性を踏まえた防災対策の推進について追記。
P61-62	横丹町	林業の振興について記載すべき。	「ようていカラマツの利用促進」を強調した記載内容となっていたが、地域の特性に応じた森林づくりの推進や、林業・木材産業の振興について言及。
P67-68	黒松内町	「多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト」において、福祉や医療の具体的な取組がない。地域や住民が安心して暮らすため、そういうポイントも、しっかり表現していただきたい。	道央広域連携地域としては、医療体制の充実や、出産・子育てをしながら働き続けられる環境づくり、高齢者も健康で暮らしやすい環境づくりについて、30頁に記載しているが、これに加え、後志地域として「安全かつ安心に暮らせる医療・福祉体制の整備」について追記。
P67-68	岩内商工会議所	経済、特に商工業に対する施策等があまり含まれていない印象がある。	道央広域連携地域としては、農商工連携の推進や国内外への販路拡大、ものづくり産業や食関連産業等の集積の促進や産学官金連携等による産業の創出・育成などについて、30～31頁に記載しているが、「多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト」において、地域経済の発展について言及。
P61	蘭越町 他	重要な野生鳥獣への対策が一言も書かれていないことが疑問。安全安心な農産物の提供、交通や観光、森林の食害被害などの面からも、野生鳥獣対策は重要。	道央広域連携地域としては、人と自然が共生する地域づくりについて、30頁に記載しているが、これに加え「農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト」において、農業・林業などの分野で鳥獣被害防止対策の推進について言及。
P67-68	共和町	地域公共交通ネットワークの維持支援について、並行在来線の議論がされている中で、バス転換について運転手不足に伴いバス事業者から対応困難との指摘がされている。 その他、路線バスにおいても運転手不足から減便・廃線が相次いでいる状況を踏まえ、本項目においてより踏み込んだ対応策の登載をすべきではと考える。	意見を踏まえ、次のとおり記載内容を変更。 旧「市町村と連携したバス運転手確保の取組支援」 新「市町村や事業者と連携したバス運転手確保の取組の実施」 当局では、今年度から事業者と協力して道外の交通系合同就職説明会に出展し、市町村の協力を得ながら後志のPRや移住施策の紹介を行うなどしつつ、バス運転手確保に努めている。昨年末にはバス事業者と連携しながら道外の移住イベントへの出展も行っており、今後は、バス運転手の魅力を発信する動画も投稿する予定。 こうしたことを踏まえ、文言を「市町村」から「市町村や事業者」、「取組支援」から「取組の実施」に修正するとともに、今後も移住や地域おこし協力隊など他の施策とも連携しながら、多様な取組を実施してまいる考え。